

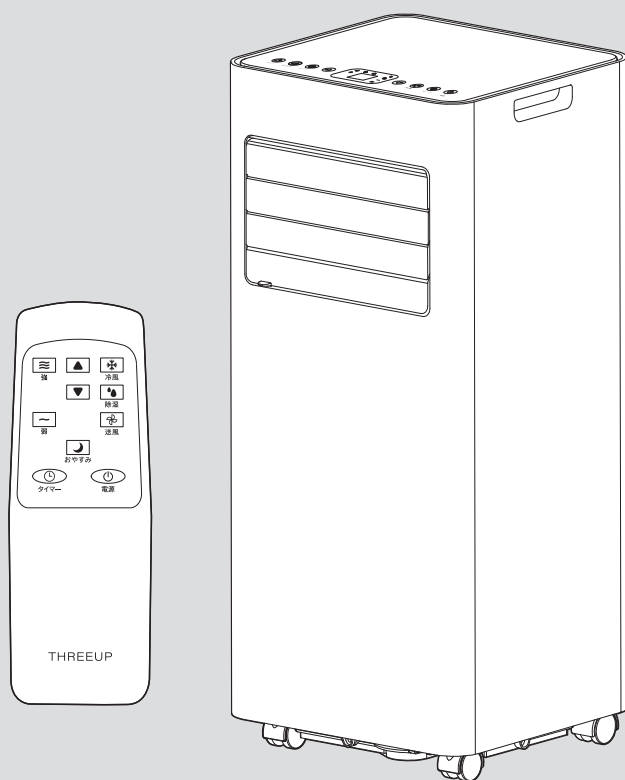
THREEUP

THREEUP

スポットエアクーラー

SC-T2545

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1～4
各部のなまえ	4～5
パッケージ内容	6
仕様	6

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと	7
設置について	7
運転前の準備	8～9
リモコンについて	10

ご使用方法

運転する/停止する	11
運転モードを切り替える	12～14
設定温度を変更する	15
風向きを調節する	16
機能を設定する	16～17
オフタイマーを使う	18
オンタイマーを使う	19
チャイルドロックを設定する	20
温度表示の摂氏/華氏を切り替える	20
排水する	21

点検・修理

お手入れと保管方法	22～23
長期使用製品についてのご注意	24
製品の廃棄について	24
エラー表示について	24
故障かな?と思ったら	25
保証・サービス	26

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
---	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

	この図記号は「禁止」されている内容です。		この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
---	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
漏電、感電、火災、故障の原因になります。

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。



禁止

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショートや発火、冷媒配管やドレン配管の破損、冷媒が漏れる原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。
過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

風を長時間、直接身体に当て続けしないでください。
健康を害する原因になります。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、お年寄り、ご病気の方、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

乳幼児の手の届くところに乾電池を置かないでください。
乾電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

乾電池を火の中に入れたり、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

警告



禁止

送風口や吸気口、通気口、排気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。衣類やカーテンなどで送風口や吸気口、通気口、排気口がふさがれたり本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちたり、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグ、アース線を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグ、アース線を乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 外出時や使用していないときは必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグ、アース線が破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る

周囲に十分な空間を確保して設置してください。設置距離について、P.7「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

乾電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数の乾電池が隣接すると、一方の乾電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗した乾電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず守る

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

警告



アース線
接続

漏電遮断器、アース線は必ず接続してください。
故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。

《アース線の接続について》

- コンセントのアース端子に接続してください。
- 漏電遮断器、アース端子がない場合は、別途工事が必要になります。お買い上げの販売店に工事を依頼してください。
電気工事は関連する法令・規定に基づき、必ず電気工事士の資格を持った方が行ってください。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース、絶縁物などと接続しないでください。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。
故障の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、漏電や事故、故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。
移動させる際は運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
故障や水漏れの原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。
転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

押し入れや家具のすき間などの狭い場所に設置しないでください。
発熱、発火の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。
本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。
テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存や冷却などの特殊用途には使用しないでください。

- 保存品の品質低下等の原因になることがあります。
- 動植物に悪影響を及ぼすおそれがあります。

乾電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

市販のエアコン洗浄スプレーは使用しないでください。

製品内部の破損や、排水経路のつまりの原因になります。

衣類の真下やカーテンの近く、本体に衣類をかけて使用しないでください。

吸い込みによる故障や事故の原因になります。

乾電池は絶対に充電しないでください。

破裂や液漏れによる火災、けが、やけどの原因になります。



禁止



禁止

⚠ 注意

騒音に注意してください。

排気ホースから吹き出る風の音や、不安定な場所や設置した場合の振動音などにより騒音が発生する場合があります。近隣の迷惑にならないよう注意してご使用ください。



必ず守る

排気ホースは必ず取り付けてください。

閉め切った部屋で排気ホースを取り付けずに運転すると、排熱により室温が上昇する原因になります。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- 長期間使用しない場合は内部の水を捨て、しっかりと乾かしてから保管ください。



必ず守る

運転停止から運転再開までは5分以上空けてください。

電源プラグを差し直した場合や、ブレーカーが落ちた場合も5分以上待ってから運転を開始してください。すぐに運転を開始すると、圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。

乾電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



接触禁止

送風口や吸気口、通気口、排気口、可動部に指を入れないでください。

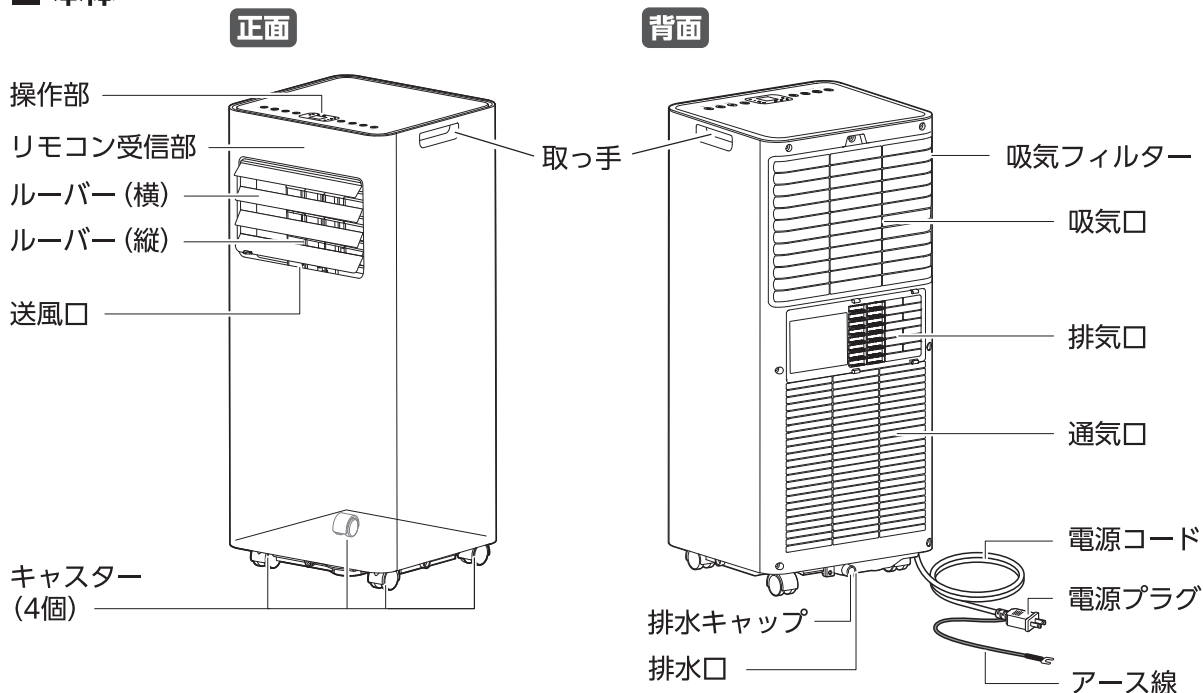
ケガの原因になります。

本体内部の熱交換器のアルミフィンに触らないでください。

ケガの原因になります。

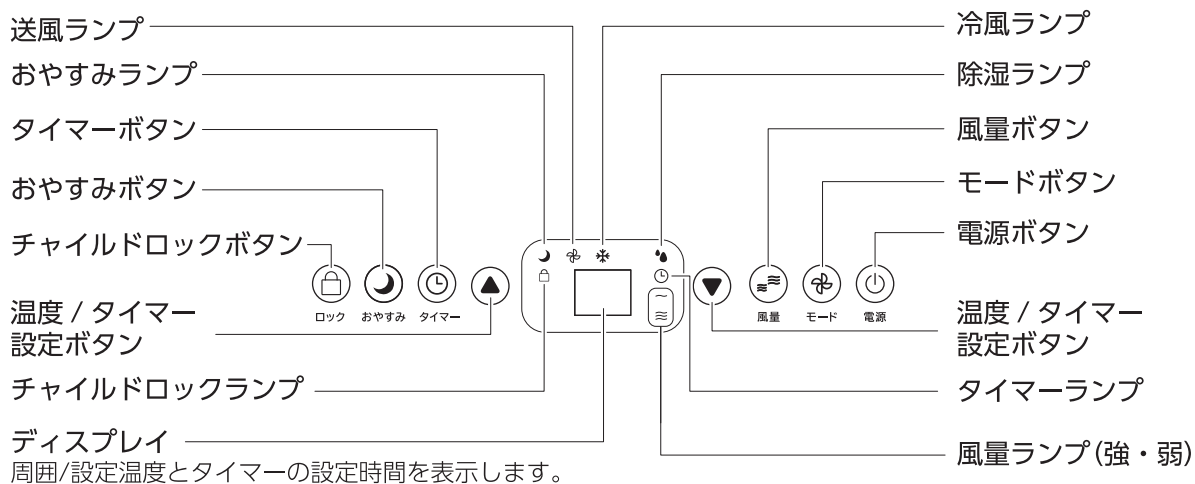
各部のなまえ

■ 本体

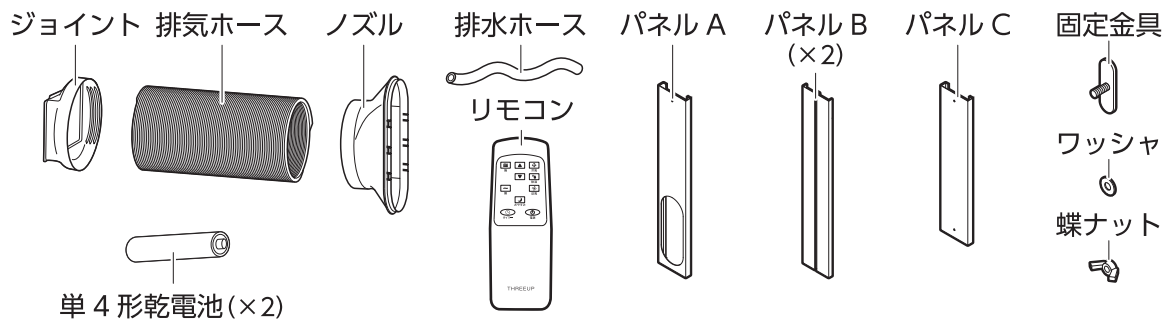


はじめに

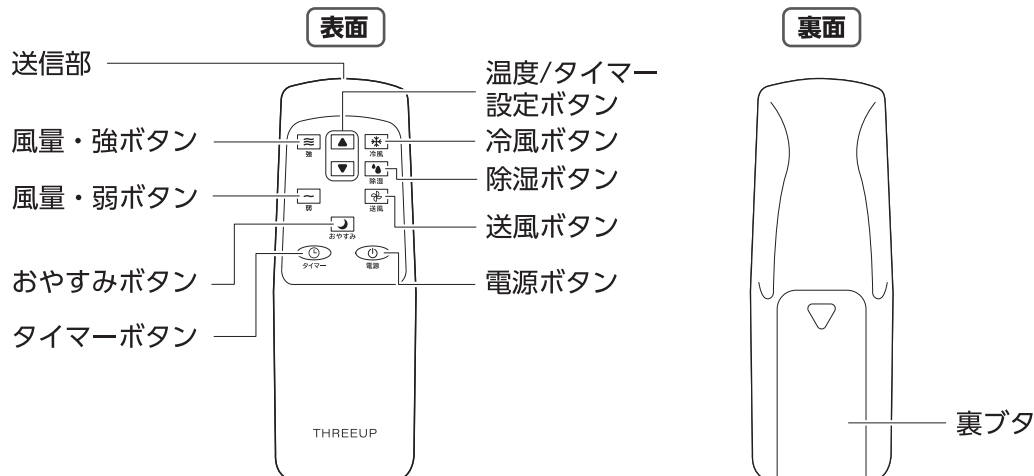
操作部



■ 付属品



リモコン



パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本 体	1	取扱説明書（保証書付き） 本書	1
排気ホース	1	ノズル	1
ジョイント	1	パネル (A×1・B×2・C×1)	左記
排水ホース	1	リモコン	1
パネル固定用金具 (固定金具・ワッシャ・蝶ナット)	各3	単4形乾電池	2

仕様

本体サイズ	幅30.5×奥行28.5×高さ69cm	本体重量	約21kg
材質	ABS、アルミ	電源	AC100V 50/60Hz
冷房消費電力	50Hz/600W、60Hz/735W	冷房運転電流	50Hz/7.7A、60Hz/7.3A
冷房能力	50Hz/2.0kW、60Hz/2.3kW	1時間あたりの電気代	約22.8円(735W連続運転時)
運転モード	冷風、除湿、送風、 おやすみ (冷風モード時のみ)	風量	2段階 (強・弱)
コード長	約1.8m	オン・オフタイマー設定	1 ～ 24時間 (1時間単位)
最大除湿能力	31L / 日	運転音	約53dB (冷風モード 風量「強」)
冷媒	R410A/335g	排水タンク容量	約500mL (満水時自動停止)
排気ホース	直径15×長さ24 ～ 160cm	排水ホース	直径1.6×長さ66cm
設置可能な 窓枠高さ	92 ～ 123、116 ～ 167、 157 ～ 226cm	—	—

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 使用する環境によって、送風口や排気口から出る風の温度は変化します。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh (税込) で計算した際の目安となります。

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

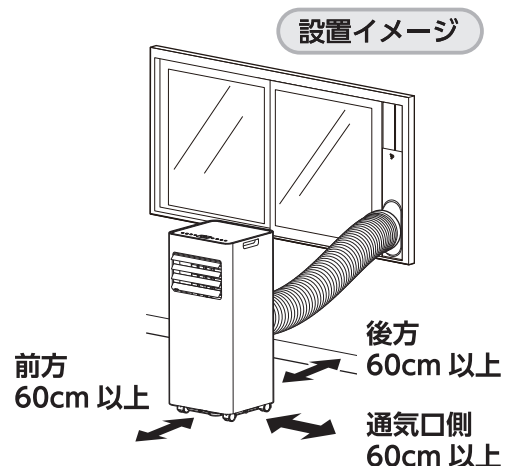
- **本製品は冷房機ではありません。**
スポット冷風機のため部屋全体を冷房することはできません。
- **運転可能な部屋の温度は、冷風時：16℃～35℃です。**
運転時に内部温度が適正範囲を超えた場合には、自動保護機能が働き、送風モードに切り替わります。
ふたたび内部温度が適正範囲に戻ったあとに、送風モードから元の動作に切り替わります。
※自動保護機能による送風運転時間は、周囲環境や動作モードなどの動作条件によって変わります。
- **本体の設定温度動作、周囲温度表示について**
ディスプレイに表示される温度や設定温度に対する動作は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度によります。

次のような現象は製品の異常や故障ではありません。

- **アルミフィンについて**
熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の接続の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。
- **露(つゆ)について**
部屋の湿度が80%以上あるときに、長期間にわたって冷房運転を続けると、排気ホースの付近などに露が付き、落ちることがあります。
- **霧(きり)について**
冷房運転中に排気ホース付近から霧(煙)のようなものが見えることがあります。これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。
- **霜(しも)について**
ご使用の環境によっては、製品内部に霜が付着することがありますが故障ではありません。
- **においについて**
部屋や芳香剤のにおい、化粧品、汗、タバコなどのにおいが本体に付着し、吹き出す風がおうことがあります。
- **音について**
 - ・ 運転開始直後や停止後に「シュルシュル」という音や、運転中に水が流れるような音がすることがあります。これらの音は冷媒が流れる音です。
 - ・ 運転中に本体から「ピシッ」という小さな音がすることがありますが、これは本体が冷やされて収縮することにより発生する音です。
 - ・ 本機は圧縮機が稼働すると、「ビーン」という大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- **圧縮機の動作について**
『電源』ボタンや『モード』ボタンを操作し、圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わったあと、冷風モードなどに設定してもすぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。これは圧縮機保護のための機能です。圧縮機が再度「ON」になるまで約3分程お待ちください。※ご使用の環境によって時間は変化します。

設置について

- 水平で安定した場所に設置してください。
不安定な場所で使用すると、転倒や振動音が発生したり、水が漏れたりする原因になります。
- 通気口、吸気口、送風口は、壁や障害物から60cm以上離してください。
- 本製品の本体重量は約21kgです。重量に十分耐える場所に設置してください。
畳の上や、やわらかいフローリングの上などの傷がついたり、設置の跡が残ったりする可能性がある場所には設置しないでください。



運転前の準備

① 製品を取り出します。

包装箱を開けて包装材と付属品を取り出します。
包装箱と包装材は保管の際にお使いください。

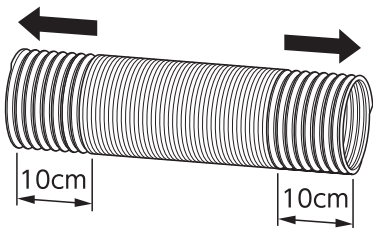
注意 本製品は重量が約21kgあるため、2人以上で取り出し、設置してください。

② 本体を設置します。

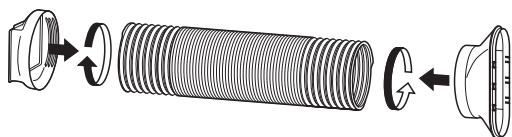
③ ノズルとジョイントを排気ホースに取り付けます。

※排気ホース類を使用せずに運転をすると室温が上がる原因となります。

a. 排気ホースの両端を10cm程度伸ばします。

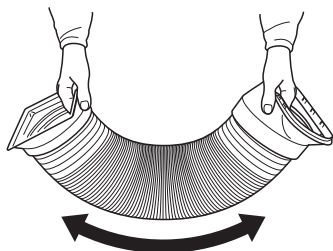


b. 排気ホースを時計回りに回してノズルとジョイントを取り付けます。



④ 排気ホースを調節します。

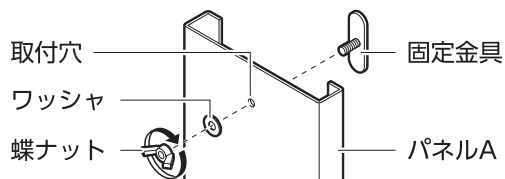
ノズルとジョイントを持ち、使用環境にあわせて排気ホースを曲げ伸ばします。



⑤ パネルを組み立てます。

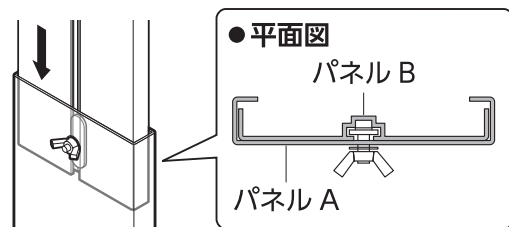
a. パネルAの取付穴に固定金具を差し込み、ワッシャを通して蝶ナットで仮止めをします。

注意 蝶ナットは止まるまで締め付けしないでください。



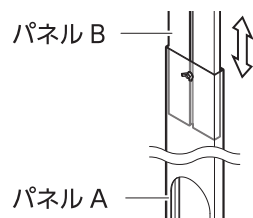
b. パネルAにパネルBを取り付けます。

固定金具を縦方向に向けて、パネルBの溝に差し込んでください。



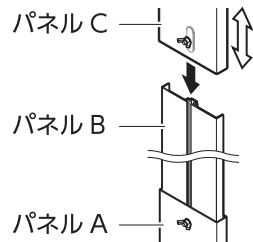
c. パネルを窓枠の高さにあわせます。

パネルBを上下させて窓枠の高さにあわせ、蝶ナットを締め付けて固定してください。



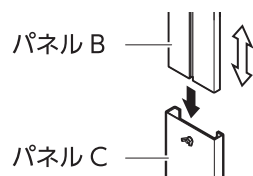
d. パネルAとBで高さが足りない場合は、パネルCを追加します。

a～cと同様の手順で取り付けてください。



e. パネルAとBとCで高さが足りない場合は、さらにもう1枚のパネルBを追加します。

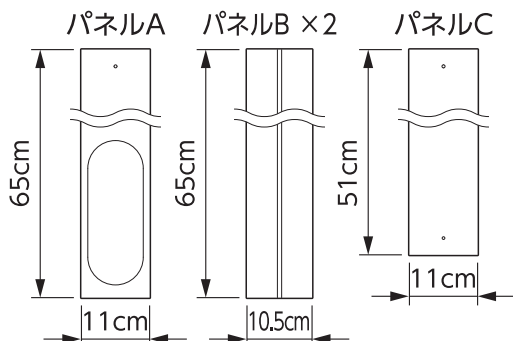
a～dと同様の手順で取り付けてください。



ご使用の前に

■ 設置可能な窓枠高さについて

● パネルの大きさ



● 窓枠の高さ92～123cm

⇒ パネルA+Bを使用

※窓枠の高さが92cm以下の場合は、パネルBがパネルAの穴を塞いでしまい、ノズルを取り付けることができません。

● 窓枠の高さ116～167cm

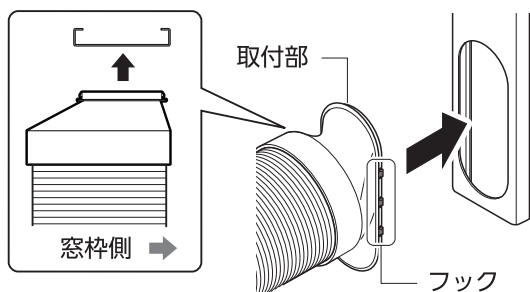
⇒ パネルA+B+Cを使用

● 窓枠の高さ157～226cm

⇒ パネルA+B+C+Bを使用

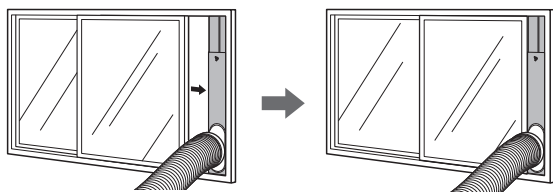
⑥ ノズルをパネルAの穴に取り付けます。

ノズルの取付部を窓枠側に向け、フック（6か所）で固定されるまで押し込んでください。



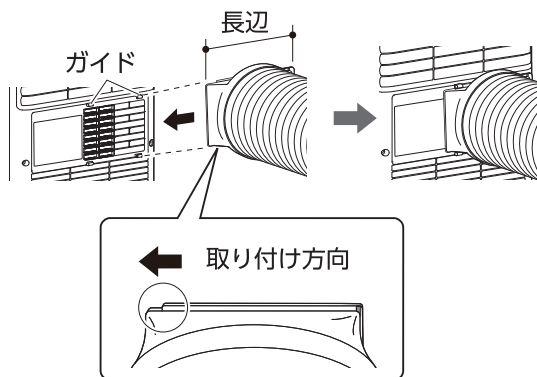
⑦ パネルを窓に取り付けます。

パネルを窓と窓枠の間に挟んで固定します。



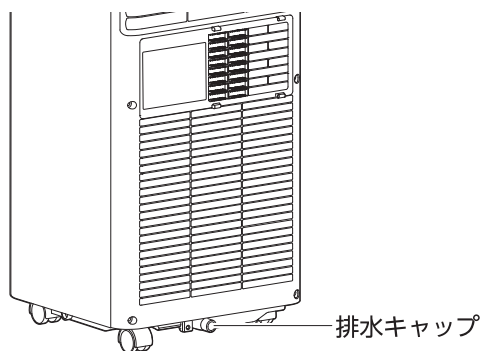
⑧ 排気ホースを排気口に取り付けます。

ジョイントの長辺を上下に、下図の方向でガイドに差し込み、奥まで押し込みます。



⑨ 排水キャップが排水口に取り付けられていることを確認します。

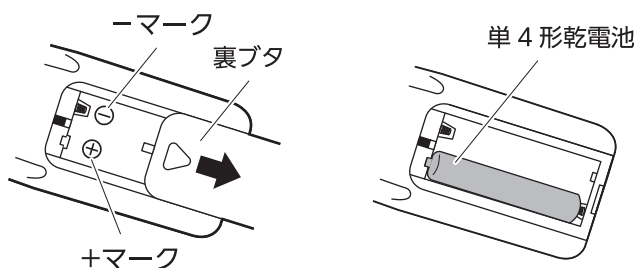
取り付けが不完全な場合、水漏れの原因になります。



リモコンについて

リモコンの裏ボタンを取り外し、内部のマークに合わせて、+-をまちがえないように単4形乾電池2本を取り付けてください。

※製品に付属している乾電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。



注意

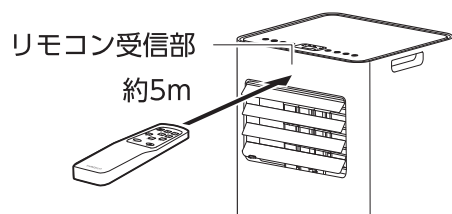
- 銘柄が異なる乾電池を混合して使用しないでください。
- 古い電池と新しい電池を混合して使用しないでください。
- 使い切った電池はすぐに機器から外して廃棄してください。
- 長期間使用しない場合は電池を外してください。
- 電池から漏れた液に触れた場合は、すぐに大量の水で洗い流してください。

■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

このような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



ご使用方法

運転する/停止する

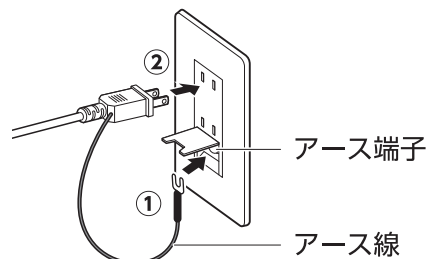
■ 運転のはじめかた

- ① アース線をアース端子に接続します。

アース線は必ず接続してください。

故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。

※詳細はP.3のアース線の接続についてをご確認ください。

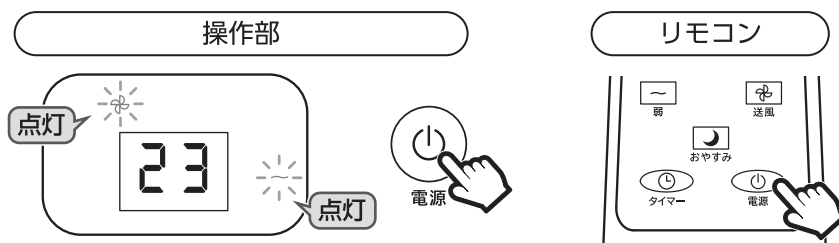


- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

“ピッ”と電子音が鳴り、ディスプレイとすべてのランプが点灯したあと消灯し、待機状態になります。

- ③ 操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと『送風』ランプと『風量』ランプ「弱」が点灯し、ディスプレイに本体の周囲温度が表示されて運転を開始します。

初めてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、送風モード、風量「弱」で運転を開始します。



■ 停止のしかた

運転中に操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、“ピッ”と電子音が鳴り、すべてのランプとディスプレイの表示が消灯します。

内部の温度が下がるまで送風運転を行ったあと、運転を停止します。

メモ 送風運転時間は、周囲環境や動作モードなどの動作条件によって変わります。

メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定とおやすみ設定は除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

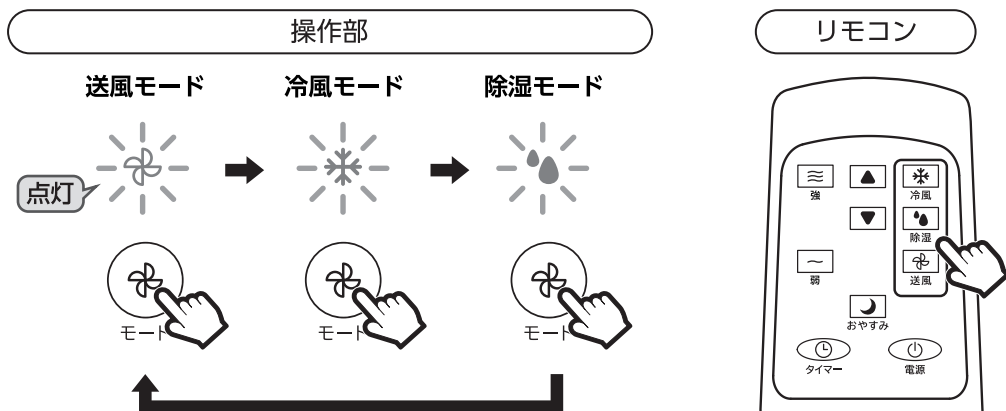
運転モードを切り替える

■ 運転モードの切り替えかた

運転中に操作部の『モード』ボタンまたはリモコンの『送風』『冷風』『除湿』ボタンのいずれかを押し
ます。

操作部の『モード』ボタンは、押すたびに下図の順で運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯
する運転モードランプも切り替わります。

リモコンの『送風』『冷風』『除湿』ボタンは、押したボタンの運転モードに切り替わります。



■ 各運転モードの動作内容

送風モード

設定した風量（強/弱）で風を送り出します。

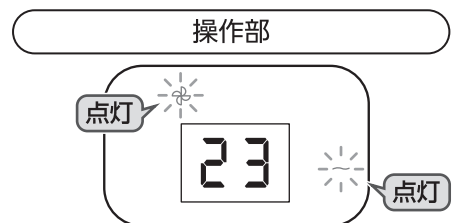
● ディスプレイの表示について

周囲温度が表示されます。

メモ 周囲温度は本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度となります。

● 風量の切り替えについて

操作部の『風量』ボタンまたはリモコンの『風量・弱』『風量・強』ボタンのいずれかを押すと、風
量を切り替えることができます。



ご使用方法

冷風モード

設定温度が周囲温度よりも高い場合は送風運転、設定温度が周囲温度よりも低い場合は冷風運転を自動で切り替えます。

◎ 初期設定：23℃



● ディスプレイの表示について

設定温度が表示されます。

● 風量の切り替えについて

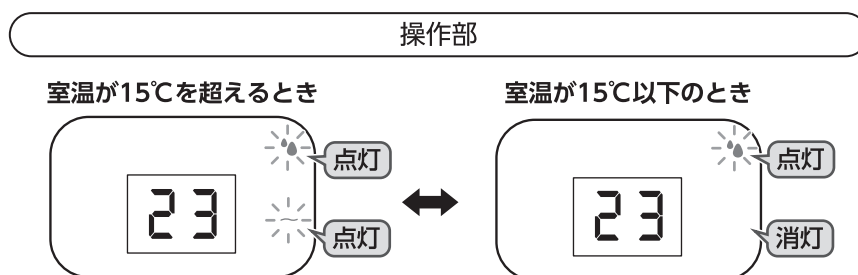
操作部の『風量』ボタンまたはリモコンの『風量・弱』『風量・強』ボタンのいずれかを押すと、風量を切り替えることができます。

メモ

冷風運転にならない場合は、周囲温度が設定温度（初期設定：23℃）よりも低い可能性があります。設定温度を下げてください。

除湿モード

周囲温度に応じて、冷風運転→送風運転を繰り返して湿度を下げます。



- 室温が25℃を超えたとき : 15分間冷風運転→3分間送風運転を繰り返します。
- 室温が20℃以上、25℃以下のとき : 10分間冷風運転→3分間送風運転を繰り返します。
- 室温が15℃を超え20℃未満のとき : 6分間冷風運転→3分間送風運転を繰り返します。
- 室温が15℃以下のとき : 室温が17℃以上になるまで『風量』ランプ「弱」が消灯し、運転を停止します。

●ディスプレイの表示について

周囲温度が表示されます。

●風量の切り替えについて

除湿モード時は風量「弱」で固定され、切り替えができません。

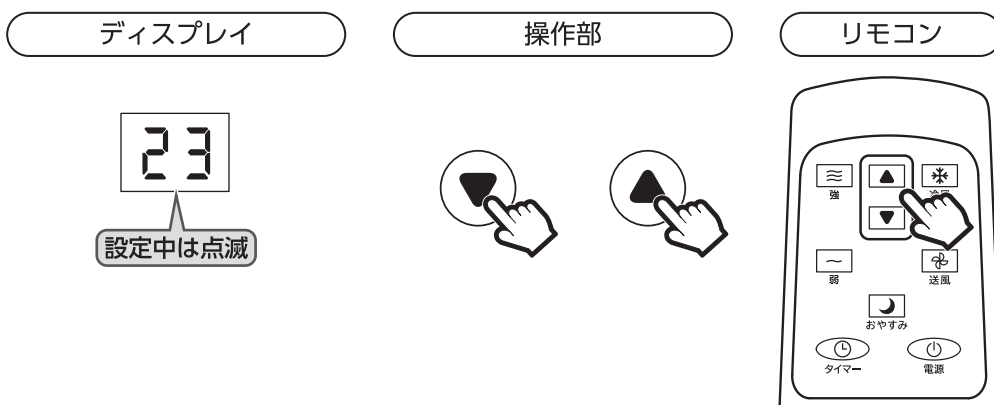
ご使用方法

設定温度を変更する

- ・冷風モードの設定時に、設定温度を変更できます。

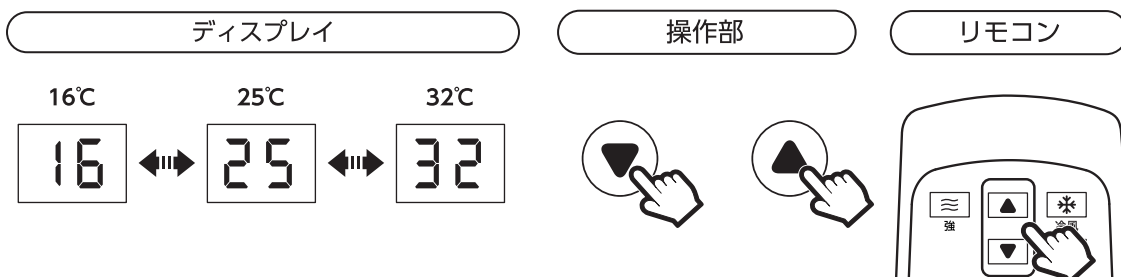
メモ 初めてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合、冷風モードの設定温度は「23℃」になっています。

- ① 運転中に操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押すと、ディスプレイが温度設定表示に切り替わり点滅します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して温度を設定します。

- ・ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
- ・『温度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1℃単位で上がり、「▼」を押すたびに1℃単位で下がります。
- ・温度は16℃～32℃の範囲で設定できます。

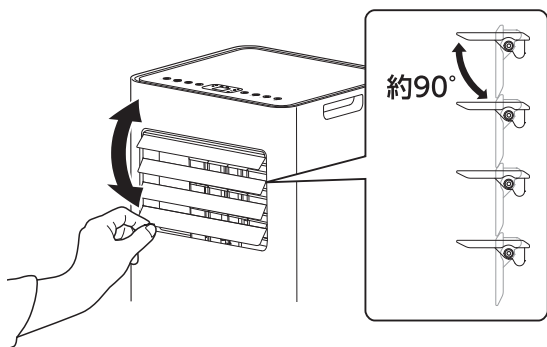


- ③ 温度を設定したあとディスプレイが点滅から点灯に切り替わり、設定完了となります。

風向きを調節する

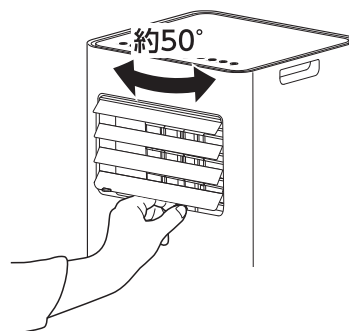
■ 上下方向の調節のしかた

いちばん下のルーバー（横）のつまミを持って上下に動かします。
下図の部分をつまむと動かすとスムーズに動きます。



■ 左右方向の調節のしかた

ルーバー（縦）のつまミを持って左右に動かします。
左右2本のルーバー（縦）は、連動していません。
それぞれ個別に調整してください。



機能を設定する

■ 運転モードと機能の組み合わせ

右表の組み合わせで設定できます。

機能 \ 運転モード	送風	冷風	除湿
風量設定	○	○	×
おやすみ設定	×	○	×
オン/オフタイマー	○	○	○

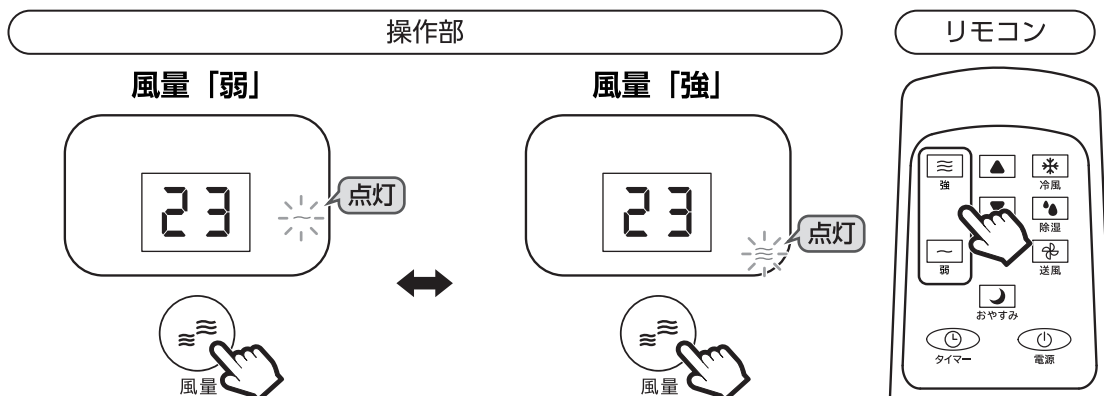
■ 各機能の動作内容

風量設定

風量の「弱」と「強」を設定します。

● 風量の切り替えかた

運転中に操作部の『風量』ボタンまたはリモコンの『風量・弱』『風量・強』ボタンのいずれかを押します。
『風量』ボタンを押すたびに「弱」と「強」が切り替わり、設定にあわせて点灯する『風量』ランプも切り替わります。



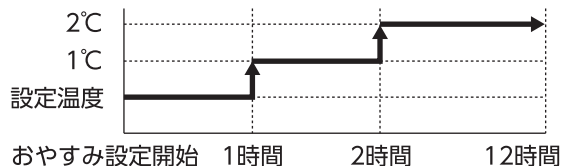
メモ 除湿モード、おやすみ設定時は風量の切り替えができません。

ご使用方法

おやすみ設定（冷風モード時のみ）

◎冷風モード時

設定温度から1時間後に1℃上昇し、2時間後にさらに1℃上昇して、12時間後に運転を停止します。



●おやすみ設定のしかた

冷風モードの設定時に操作部またはリモコンの『おやすみ』ボタンを押すと、『おやすみ』ランプが点灯し、表示が点灯から減灯に切り替わり、おやすみ設定されます。

●おやすみ設定の解除のしかた

もう一度操作部またはリモコンの『おやすみ』ボタンを押すか、『モード』ボタンを押して運転モードを切り替えます。

『おやすみ』ランプが消灯し、表示が減灯から点灯に切り替わり、おやすみ設定が解除されます。

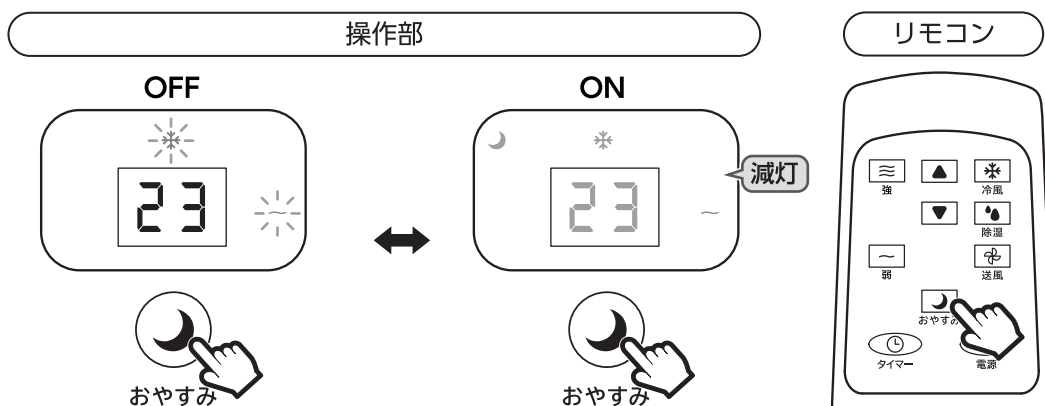
●ディスプレイの表示について

設定温度が表示されます。

●風量の切り替えについて

おやすみ設定時は風量「弱」で固定され、切り替えができません。

メモ おやすみ設定時は操作時の電子音が鳴りません。

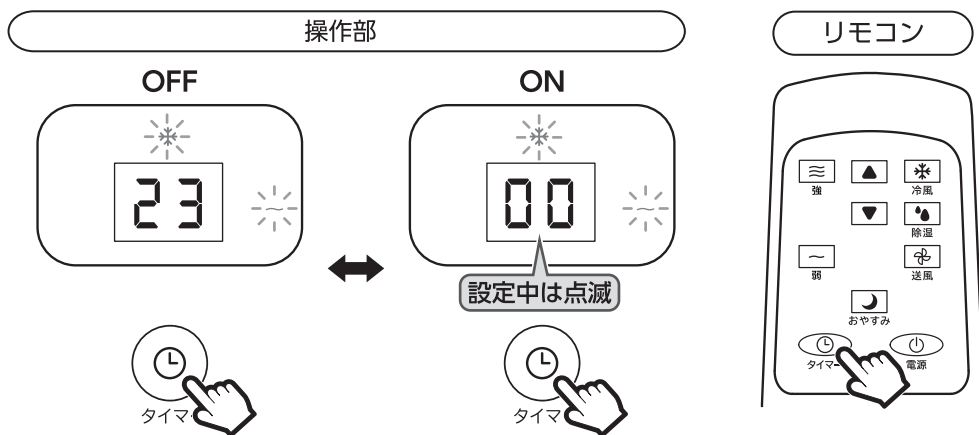


オフタイマーを使う

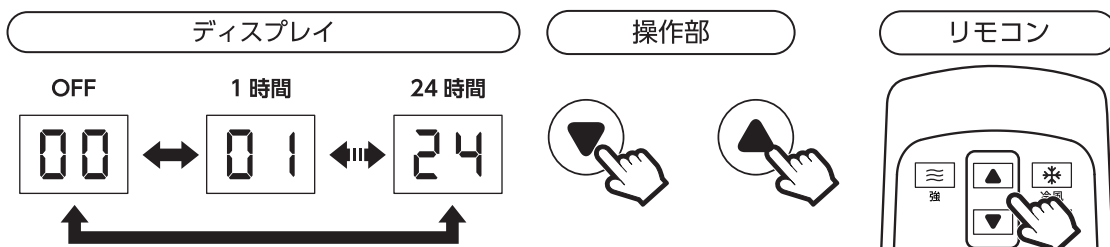
1～24時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

●オフタイマーの設定のしかた

- ① 運転中に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイがタイマー設定表示「00」に切り替わり、点滅します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの表示時間は「00」になります。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して時間を設定します。
- ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
 - 『温度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1時間単位で増え、「▼」を押すたびに1時間単位で減ります。
 - ディスプレイが「00」以外の表示になると、『タイマー』ランプが点灯します。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイが点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
オフタイマーの設定中は、『タイマー』ランプが点灯したままで運転します。

●オフタイマー設定完了後のディスプレイ表示

オフタイマー設定中は、ディスプレイに周囲温度、もしくは設定温度を表示します。
運転中に残り時間を確認したいときは、本体またはリモコンの『タイマー』ボタンを押すと、ディスプレイに残り時間が約5秒間表示されます。

●オフタイマーの解除のしかた

もう一度操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイの点滅中に設定時間を「00」にあわせて点灯するまで約5秒間待つと『タイマー』ランプが消灯して、オフタイマーが解除されます。

ご使用方法

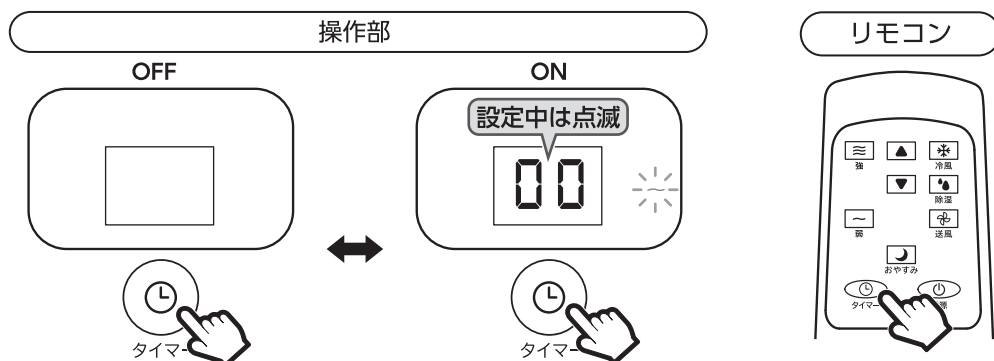
オンタイマーを使う

1～24時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

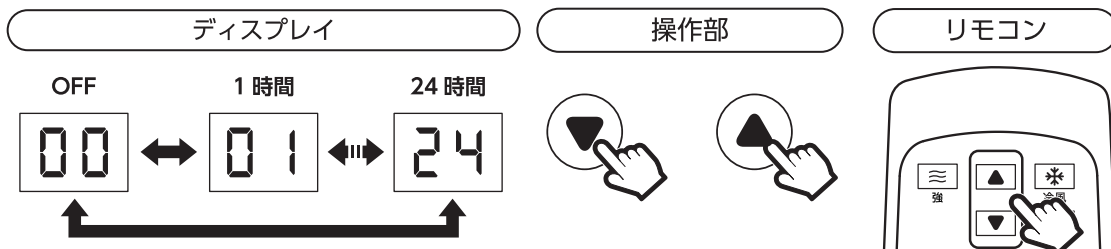
● オンタイマーの設定のしかた

- ① 電源オフ時に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイはタイマー設定表示「00」となり点滅します。
初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときの表示時間は「00」になります。

メモ 設定されている運転モードと風量のランプも点灯します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温度/タイマー設定』ボタンを押して時間を設定します。
 - ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
 - 『温度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1時間単位で増え、「▼」を押すたびに1時間単位で減ります。
 - ディスプレイが「00」以外の表示になると、『タイマー』ランプが点灯します。



- ③ 時間を設定したあと、ディスプレイが点滅から点灯に切り替わると設定完了となります。
- ④ 設定した時間が経過すると記憶された運転モードで運転を開始します。

● 運転開始時の動作設定、変更

- 運転モードと風量は、操作部またはリモコンで設定、変更できます。
- 設定温度の変更や、おやすみ設定はできません。

● オンタイマー設定完了後のディスプレイ表示

ディスプレイに残り時間を表示し、『タイマー』ランプと運転開始時の動作設定されているランプが点灯します。

● オンタイマーの解除のしかた

もう一度『タイマー』ボタンを押します。

時間の設定を「00」にあわせて約5秒間待つと『タイマー』ランプが消灯して、オンタイマーが解除されます。

『電源』ボタンを押したときは、運転を開始します。

チャイルドロックを設定する

● チャイルドロックの設定のしかた

本体の『チャイルドロック』ボタンを約3秒間長押しします。

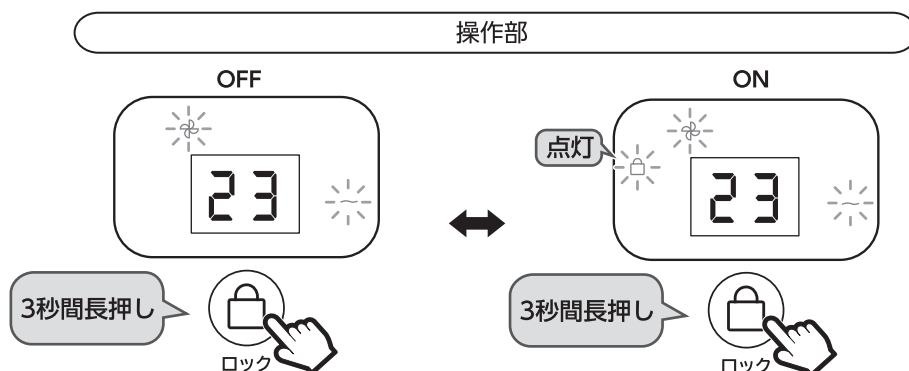
”ピッ”と電子音が鳴って『チャイルドロック』ランプが点灯し、チャイルドロックが設定され、ボタン動作ができなくなります。

メモ 『電源』ボタンも反応しなくなるので、運転を停止する場合はチャイルドロックを解除してから、『電源』ボタンを押して停止してください。

● チャイルドロックの解除のしかた

本体の『チャイルドロック』ボタンを約3秒間長押しします。

”ピッ”と電子音が鳴って『チャイルドロック』ランプが消灯し、チャイルドロックが解除されます。



温度表示の摂氏/華氏を切り替える

● 温度表示の摂氏/華氏の切り替えかた

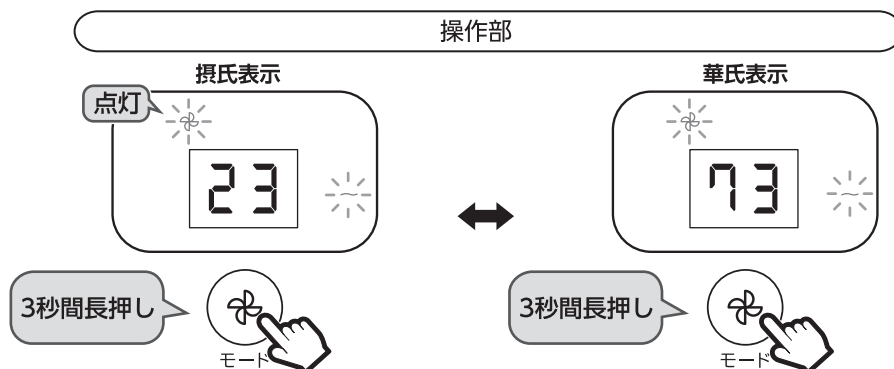
本体の『モード』ボタンを約3秒間長押しします。

”ピッ”と電子音が鳴ってインジケーターの周囲温度、もしくは設定温度表示が華氏表示設定に切り替わります。

華氏表示設定時に、本体の『モード』ボタンを約3秒間長押しすると、”ピッ”と電子音が鳴って摂氏表示設定にもどります。

メモ

- 初めてご使用になるときは摂氏表示設定になっています。
- 電源プラグを差し直しても表示設定は記憶されて変わりません。



ご使用方法

排水する

本機はノンドレン機構となっておりますが、湿度が高い環境ではドレン水が溜まりやすくなることがあります。異常や故障ではありません。

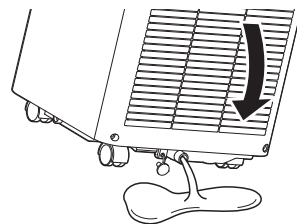
※ノンドレン機構とは運転時のドレン水を内部で蒸発させ排気とともに出す構造です。

水が溜まったり、エラーコード「Ft」が表示された場合は、排水キャップを外して排水してください。

■ 排水のしかた

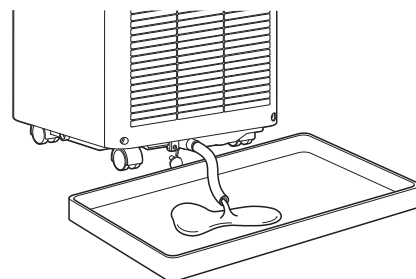
◎排水ホースを使用しない場合

- ① 電源を切って電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 排気ホースを取り外します。
- ③ 水がこぼれないように浴室などの濡れてもよい場所まで本体をゆっくりと移動します。
- ④ 排水キャップを取り外します。
- ⑤ 本体を傾けて排水します。
- ⑥ 排水キャップを取り付けます。
- ⑦ 排気ホース、電源プラグをもとの状態に戻してください。



◎排水ホースを使用する場合

- ① 電源を切って電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② トレイなどの容器を排水口の下に置きます。
- ③ 排水キャップを取り外します。
- ④ 排水口に排水ホースを取り付けて排水します。
- ⑤ 排水ホースを取り外します。
- ⑥ 排水キャップを取り付けます。
- ⑦ 電源プラグをもとの状態に戻してください。



メモ

- 運転後に排水キャップを取り外すと、中に残っている水がこぼれることがあります。

お手入れと保管方法

警告



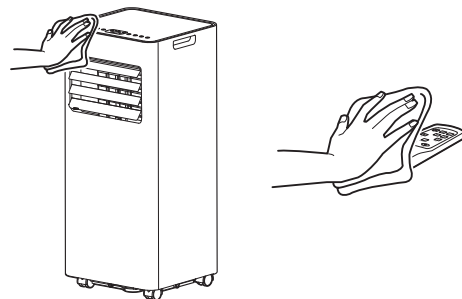
必ず守る

お手入れの際は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガの原因になります。

■ 本体、リモコンのお手入れ

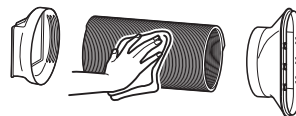
ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ります。乾いた柔らかい布で拭いたあと、陰干しをしてしっかりと乾かします。

- お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- リモコンの乾電池は取り外してください。



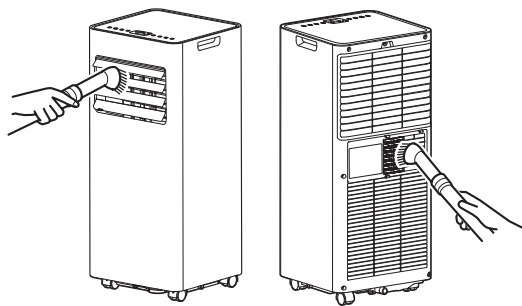
■ 排気ホース、ノズル、ジョイントのお手入れ

本体から取り外して本体と同じ方法でお手入れをします。



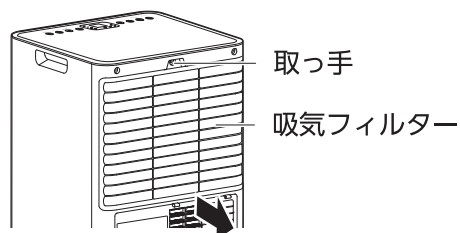
■ 送風口と排気口のお手入れ

すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ります。

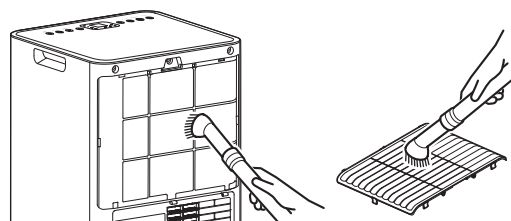


■ 吸気口のお手入れ

- ① 吸気フィルターの取っ手に指先を掛けて手前に引きます。

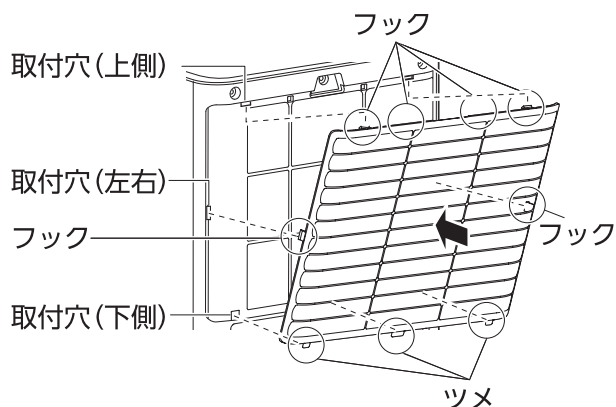


- ② すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ります。



- ③ お手入れのあと、吸気フィルターを本体に取り付けます。

ツメ (3か所) を下側の取付穴に差し込みながら、フック (左右各1、上4か所) を押し込んではめてください。



■ 本体内部 (タンク) のお手入れ

長期間使用しない場合は、排水をしたあと、送風モードで3～4時間運転して内部を乾かします。

■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをしてしっかりと乾かします。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンから乾電池を抜いて、乾電池の電極 (+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。
- 本製品は圧縮機を内蔵しています。横倒しの状態で移動や保管はしないでください。故障の原因となります。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートにご相談ください。

- スイッチを入れてもファンが回らない。
 - ファンが回っても、回転が不規則に変化する。
 - 回転するときに異常な音や振動がする。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
 - 電源コードが折れ曲がったり破損している。
 - 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は右記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
標準的な使用条件を超えて用いた場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
製造年は本体ラベルに記載しています。

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。
標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「スリーアップカスタマーサポート」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載しています。

環境条件	電 源 電 圧	単相100V
	周 波 数	50/60Hz
	温 度（室内）	27℃（乾球温度）
	湿 度（室内）	47%（湿球温度19℃）
負荷条件	設 置 条 件	標準的な設置
	住 宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部 屋 の 広 さ	製品能力に見合った広さの部屋
想定時間	1年間の使用日数（東京モデル）	6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	9時間/日
	1年間の使用時間	1,008時間



【設計上の標準使用期間】 6年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至るおそれがあります。

製品の廃棄について

本製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用商品ではありません。
廃棄する場合は、専門の回収業者へ委託し、適切に処理してください。
廃棄に関してご不明な点は、各自治体の窓口に確認をお願い致します。

エラー表示について

エラー発生時はディスプレイに下記のエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラーの内容	対処方法
E0	内部基板の動作に異常が発生した。	直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。 修理が必要なため、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
E1 E2	温度センサーが故障した。	
Ft	タンクが満水になった。	排水してください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	- 電源プラグがはずれている。 『電源』ボタンを押していない。 - リモコンの乾電池の残量が少ない。 - オンタイマー設定になっている。	- 電源プラグをコンセントに接続してください。 『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 - 製品に付属している単4形乾電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。新しい単4形乾電池に交換してください。 『電源』ボタンを押すことでオンタイマーが解除され、運転が開始されます。
運転が停止した	- オフタイマーが作動して停止した。 - 冷風モード時におやすみモードを設定していた。	- 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。 - おやすみモードを設定してから12時間後に運転が停止します。
風が出てこない	除湿モードで、本体の周囲温度が15℃以下になっている。	本体の周囲温度が上がるまで除湿運転が再開されませんが、故障ではありません。
運転音が大きい	- 不安定な場所に設置している。 - 送風口、吸気口などにホコリがたまっている。	- 水平で安定した場所に設置してください。 - お手入れをしてホコリを取り除いてください。
運転するが涼しくならない	- 送風口、吸気口などにホコリがたまっている。 - 排気ホースが取り付けられていない。 - 冷風モードの設定温度が本体の周囲温度よりも高い。	- お手入れをしてホコリを取り除いてください。 - 排気ホースを取り付けて、室外に熱を排出してください。 - 設定温度を下げてください。
本体から水が漏れる	- 本体が傾いて設置されている。 - 本体が傾いて状態で移動した。 - 排水キャップが外れている。	- 水平で安定した場所に設置してください。 - 本体を移動する際は、傾かないように慎重に移動してください。 - 排水キャップをしっかりと取り付けてください。
冷風が出ない	- 圧縮機が停止している。 - 冷風モードで運転している。 - 自動保護機能が働いている。	- 圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わったあとは、すぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。圧縮機が動くまで約3分程お待ちください。 - 冷風モードで運転している場合は、本体の周囲温度や設定温度により、冷風/送風が切り替わります。 - 内部温度が適正範囲を超えると自動保護機能が働きます。 - 自動保護機能の詳細は、P.7「知っておいていただきたいこと」をご確認ください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。